

大型ハリケーンで被害

## ハイチへ調整員派遣

AMDA 診療や物資配給

大型ハリケーンによる暴風雨被害に見舞われた中米ハイチの被災者支援のため、国際医療ボランティアAMDA

A（本部・岡山市北区伊福町）は8日、調整員の松永健太郎さん（30）＝同市＝を派遣した。現地の医師らと共に巡回診療や支援物資の配給などに当たる。

（8面関連）

中米ハイチの被災者支援に向かうため新幹線に乗り込むAMDA調整員の松永さん＝JR岡山駅

松永さんは8日午前、成田空港に向けてJR岡山駅を出発し、米国マイアミ経由で日本時間の9日夜にハイチ入りする。現地のAMDA医師らと合流し、甚大な被害が出たハイチ西部に向かう予定。

松永さんは出発前、「『相互扶助』の精神で現地の人と連携して効果的な支援に努めた」と話した。

AMDAは、2010年のハイチ大地震でも約8カ月間で計37人の職員を派遣。以来、ハイチ支部を設けて支援活動を続けている。

（大橋洋平）



# ハリケーン ハイチ死者870人超

【ニューヨーク共同】ロイター通信は7日、大型のハリケーン「マシュー」の暴風雨被害に見舞われたカリブ海のハイチで、死者数が877人に上ったと伝えた。当局者の情報を独自に集計した。ハリケーンは7日、米南部フロリダ州東側の沿岸を北上。同州では倒

木の下敷きになるなど4人が死亡した。

中南米最貧国のハイチでは、ハリケーンが最も接近した西部を中心に道路や通信網が大きな被害を受け、救助活動や被災者支援が大

きく遅れている。ロイターは、衛生状態の悪化が原因とみられるコレラによる死者が出たと伝えた。

寸断された通信や交通のインフラ復旧で被害の実態把握が進めば、死者数はさ

らに増える恐れがある。

フロリダ州東部の沿岸部では海沿いの道路が崩れたほか、豪雨により各地で冠水。風が静まった地域では、強風で倒れた電柱やぶら下がった電線が無残な姿をさらした。航空便の欠航は4500便に上った。

8日、ハリケーンの勢力は弱まり、5段階分類で一番下のカテゴリー1となった。



7日、ハイチ南西部ジェレミーで、ハリケーンで壊れた家々の前を歩く人々（ロイター共同）